

# ナツジ理論を用いた古着回収

西入愛菜

# 課題

- 近年古着が世界的に増加傾向にある(ファストファッション)
- リサイクルショップに持って行くのが面倒で、ごみとして捨ててしまう人も多い。
- 古着回収を団体で行っても若年層ではなく、高齢の方のみが持ってくるのが現状となっている。(告知の範囲の偏り)
- 無人回収の場合、古着以外の物(ごみ)を入れられることもある  
→ ごみを入れようと思わせない工夫が必要
  
- 古着回収に行く(来た)意義を見出せない  
→ 古着回収に「行きたい」「来てよかった」と思わせる工夫が必要

# 今回の取り組みの目的

- 1.若年層をメインターゲットとして古着回収へ参加したいと思うようにする。
- 2.今回の取り組み終了後も再び古着回収へ参加したいという気持ちを持つきっかけにする。
- 3.持っている古着をごみとして捨てるのではなく、回収場所に持参することでCO<sub>2</sub>排出削減および3R貢献となる取り組みにする。



# ナッジを活用した課題への対応策

## ○若年層に来てもらう

- ・できるだけ参加しやすい場所での開催  
→ コミセン、大学

開催場所の工夫

- ・参加してみたいと思うようなポスターデザイン  
→ 幽霊デザイン

告知内容の工夫

- ・実施予告する対象を若年層に向ける工夫  
→ 小学校へのチラシ配布、大学での人の出入りの多い場所

告知対象の工夫

- ・古着回収が行われていることを目立たせる  
→ 古着(Tシャツ)を貼り付けした全身鏡の設置  
Tシャツには衣類廃棄の現状などを記載し、メッセージ性をもたせる

開催時の工夫

## ○無人回収ボックスのデザインの工夫

- ・ごみを入れたいと思わせないようにする  
→ 回収ボックスを洗濯機型にする

開催時の工夫



# 有人回収の形態

実施方法:小学生とその保護者を対象に行い、ナッジを活用したチラシの有無で古着回収量の比較検証を行う。

## 【ナッジ無】

実施日:令和5年12月2日(土)

場所:西部市民センター

対象:日新小学校(767名)

周知方法:全校生徒にチラシ(通常ver.)を配布

## 【ナッジ有】

実施日:令和5年12月10日(日)

場所:北部市民センター

対象:土崎小学校(188名)、港北小学校(598名)

周知方法:全校生徒にチラシ(ナッジver.)を配布

## 通常ver.

### 古着回収を行います

ご自宅にある古着を是非持ってきてください。

回収された古着はマレーシアに輸出され、  
地域の子どもたちに寄付されます。

詳細は下記のとおりです。

・日時:12月2日(土)  
9:30~11:30

・場所:秋田市西部市民サービスセンター  
WESTER【ウェスター】

注意:洋服だけを持参してください。それ以外は回収しません。  
袋に入れてご持参ください。

※今回の古着回収は県の事業に伴い、  
県内の大学生が企画・実施するものです。

主催:秋田県  
お問い合わせ:ECOコンAKITA2023事務局(柳アド東北内)  
TEL:018-863-6611(平日9:00~18:00)



## ナッジver.

# 有人回収の形態

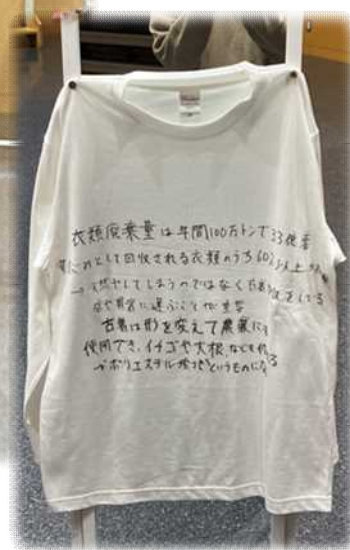


## 有人回収の流れ

- ①古着を預かる
- ②古着を張り付けた全身鏡の前に立ってもらい、内容を読んでもらう
- ③アンケートを記入してもらう

## 全身鏡に記載した内容

- ・衣類廃棄の現状
- ・古着の活用方法について記載した



# 無人回収の形態

実施方法:秋田大学内に無人回収BOXを設置し、ナッジを活用したポスターの有無やBOXデザインの奇抜化、全身鏡の設置などにより古着回収量の比較検証を行う。

## 【1回目】 ※ポスター通常Ver.

ポスター掲示期間 :令和5年12月4日(月)~12月8日(金)

回収日(BOX設置日):令和5年12月8日(金)

場 所:秋田大学 学生会館売店前

対 象:秋田大学生

## 【2回目】 ※ポスターナッジVer.

ポスター掲示期間 :令和5年12月11日(月)~12月15日(金)

回収日(BOX設置日):令和5年12月15日(金)

場 所:秋田大学 学生会館売店前

対 象:秋田大学生



# 無人回収の形態



## 無人回収の流れ

- ①持ってきた古着を洗濯機型の回収ボックスに入れる
- ②アンケートに答えてもらう

## 無人回収での全身鏡の位置づけ

有人回収と異なり、きちんと見たかが分からないのが難点であった



# 古着回収(量での比較)

無人回収(ナッジなし)

2.202kg

【一人あたり2.2kg】

約1.5倍

無人回収(ナッジあり)

3.350kg

【一人あたり1.1kg】

有人回収(ナッジなし)

18.342kg

【一人あたり4.6kg】

約4.0倍

有人回収(ナッジあり)

72.554kg

【一人あたり7.3kg】

回収量

古着回収に来た人数は有人回収では2.5倍、無人回収では3倍に増えた。

来場者数

# 古着回収(心理的比較)

- 古着回収後にアンケートを行った。

項目としては「どこでお知らせを見たか」「今後も古着回収に行きたいと思うか」の2つをメインで聞いた。

- 有人回収では「小学校からのお知らせ」、無人回収では「購買前の全身鏡」が最も多く、全ての人が機会があったら再び古着回収へ行きたいと回答した。

- 古着回収量は有人回収では約4.0倍、無人回収では約1.5倍に増え、古着回収に来た人数は有人回収では2.5倍、無人回収では3倍に増えた。

# まとめ

- インパクトのあるポスターやオブジェの設置、できるだけ参加しやすいような取り組みにすることで参加者の増加が見られた
- 無人回収は設置期間を延ばすことで、より大きな効果が見込まれると考えられる

